

ちょっとだけ!!
フライングディスク
将来構想会議
2020

将来構想メモvol.6(2020/10/13)

Flying Disc Times
presents

<ゲストプロフィール>

下山田蒼汰

活動拠点: 関東

所属: UNKNOWN、WJUC2020@スウェーデン(新型コロナのため中止)

関わり方: プレイヤー

阿部菜乃華

活動拠点: 関東

所属: チャーム(キャプテン)、cojicoji_ず(キャプテン)

関わり方: プレイヤー

最近アルティメットウェア中心としたアパレルブランド
(Nazu-equip)を立ち上げる

<フライングディスクをこうしていきたい>

- ・学生チームでスピリットキャプテンを定着させたい

<困っていること / 課題>

- ・SOTGはどうやったら広まる？

- ・そもそも、「SOTG」とは？

<考えている解決策>

・「SOTG」の教わり方、教え方を考える

ルール上規定があっても、それぞれが考える「SOTG」が異なる
セルフジャッジであるが故、「SOTG＝ルールの理解」という概念が定着

→新歓や競技を始める段階でSOTGについて教わる機会を設ける

例)「嘘はつかない」をルールとする＝アルティメットの醍醐味

”見てていい試合”＝SOTG、フェアプレー、リスペクト

・「SOTG」に関して議論する場を増やす

→コミュニティ内の人々が考えている「SOTG」をすり合わせたり、

「何のためにSOTGが必要なのか？」を考えるきっかけをつくる。

例)U24では「応援されるチーム」という視点でチームの在り方やSOTG
を考えていた。

<論点の整理>

- ・SOTG=ルールにこだわらず、他の視点で考えるきっかけや柔らかいSOTGの表現を作ることが大切。

→教える対象によって着眼点を変える

例)・ユース世代は子ども達よりも保護者にフライングディスク、SOTG セル
フジャッジを考えてもらう。

- ・今まで経験してきたスポーツと比較して、フェアプレイ、スポーツマンシップという点でフライングディスクのあるべき姿を考える。

→コミュニケーションツールとしてのSOTGを定着させる
議論すること、すり合わせるからこそSOTGの醍醐味

参加者写真

担当メンバー: 田中 花弥乃

